

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	GRIPキッズー之江校		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 32名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内がコンパクトなため、児童への目が届く	施設面において、療育スペースでの死角がなく児童の様子を確認しやすい環境構成になっている。児童の特性に応じて個別と集団活動のスペースを確保し、それぞれの活動を尊重している。	通所する児童に合わせ、活動しやすい環境構成を都度考えながら療育に取り組んでいく。療育のスペースを活かした活動を考え、安全に配慮した職員の配置に努める。
2	多様な活動プログラムの実施	毎週ごとに異なるGRIP独自の活動プログラムを考案し提供している。児童並びに保護者方からも好評で、活動プログラムが固定化されていないものであるとの声を頂いている。	GRIPらしさを考えた上でのプログラムを毎月考案し提供しているが、現存のプログラム体制のみならず多彩な活動ができるように今後のプログラムの拡充を図っていく。
3	保護者に対するサポート体制の充実と連携	保護者へのサポートやニーズを把握した上での療育を行うことが児童の発達につながると考えており、送迎時の会話や連絡帳における情報共有にて保護者とのコミュニケーションを図っていく。またこれらを継続していくことで保護者並びに児童のニーズを掌握し実践していく。	出来る限りのフォロー体制ではあるが、保護者と児童含め更なるサポートを考えた取り組みをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との連携・交流活動	地域住民や子どもとの交流機会が現在のところ開催予定がない。 安全面等を考え、開催を検討するところに至っていない。	地域交流に関しては、開催を必要としない声もある為、慎重に吟味しながら検討していきたい。
2	保護者会の開催、きょうだい同士の交流など家族間での支援	アンケート集計した結果、開催の必要性がないとの回答が多く見受けられた。理由としては開催されても仕事などにより参加できない場合が多いことや、必要性を感じないとのことであった。	保護者の意向を踏まえた上で、今後の交流の場としての検討を進めていく。
3			